

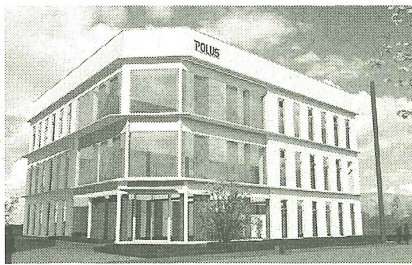
木造で関連会社の社屋建設
来年3月完成、事業費6億円

ポラスグループ

ポラスグループは11月18日、グループ会社の住宅品質保証（埼玉県越谷市、高橋一郎社長）の本社を木造で建設すると発表した。住宅品質保証は住宅の引き渡し前の品質

検査、定期巡回サービスによるアフターメンテナンス業務、地盤調査などを手掛けている。新社屋は3階建て。既に8月20日に着工しており、来年3月7日の完成を見込む。土地代を除く総事業費は約6億円。

新本社はポラスオリジナルの合わせ柱・重ね梁（はり）、一般流通材のCLT耐力壁を使用。構造用木材の使用量は横架材が153㎡、柱材が54



新社屋のパース

㎡、CLTが74㎡となる。

外壁の一部はカーテンウォールとして「木でできたビル」を訴求。木の持つ温かみと、力強い構造美を併せ持つデザインだ。

屋内は新たな職場環境づくりとして、フリーアドレスを採用。ポラスグループ社員のサテライトオフィス機能も持たせる。

新社屋は45分準耐火建築物。敷地面積895㎡、建築面積580㎡、延べ床面積1726㎡。ポラテック事業推進部一級建築士事務所が設計し、ポラテックとポラスハウジング協同組合が施工する。

今回の新社屋は同社グループの施設としてポラス建築技術訓練校、ウッドガーデン（ポラスガーデンヒルズ本社）に次いで3件目の中大規模木造建築物となる。